

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
三機工業株式会社	当社・大和事業所（神奈川県大和市）に、ビオトープ（三機自然環境園）を2005年9月に造成。 地域住民の憩いの場として、また地域の学校の自然教育の場として、多くの方に来訪していただいている。	目標 1	6-2	<a href="http://www.sanki.co.jp">http://www.sanki.co.jp</a>
イビデン株式会社	イビデンの森に関する活動の一環として、従業員、OB・OG、地域住民・学生を対象に参加者を募り、環境保全の体験の場としている。 また、新入社員研修の一環としても森林整備活動を取り入れている。	目標 1	7-1	<a href="http://www.ibiden.co.jp/csr/report/pdf/report14_07.pdf">http://www.ibiden.co.jp/csr/report/pdf/report14_07.pdf</a> イビデン株式会社 CSRレポート2014 p46
ウシオ電機	ウシオ生物多様性評価ガイドラインについて、電子電機4団体から発行されたガイドラインに沿って見直しを行っている	目標 1	3-1	<a href="http://home.jeita.or.jp/eps/pdf/2015032401.pdf">http://home.jeita.or.jp/eps/pdf/2015032401.pdf</a>
キヤノン株式会社	1981年4月から30年以上にわたり、ナショナル・ジオグラフィック誌に環境広告「WILDLIFE AS CANON SEES IT」を掲載。絶滅の危機にある野生動物の写真と、彼らが置かれている厳しい生息地の状況や行動特性を広く社会に訴えています。	目標 1	7-2	<a href="http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html">http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html</a>
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	ホームページで子供向け生物多様性コンテンツ「生物多様性ってなに？」を公開 「国連生物多様性の10年日本委員会」の提唱する「MY行動宣言5つのアクション」とも連動した内容で子供たちの生物多様性への取り組みを促進する内容となっている	目標 1	7-2	<a href="http://cweb.canon.jp/ecology/tsunagaru/">http://cweb.canon.jp/ecology/tsunagaru/</a>
キリンホールディングス(株)	生物資源に関するビジョンの設定 2050年に向けた「キリングループ長期環境ビジョン」の中で「生物資源」を4つの重要テーマの一つに選定。2050年までに生物資源を持続可能な形で使用していることを到達目標に掲げ、ガイドラインや行動目標を設定して活動を推進している。	目標 1	1-1	<a href="http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/bioresourcevision.html">http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/bioresourcevision.html</a>
株式会社ケーヒン	栃木県那須烏山の県有地0.33ヘクタールに9種類、204本を植樹及び、ケーヒンの生物多様性として宮城県角田市水道事業所八幡配水池跡地を借用し、生態系の調査や樹木の間伐、植栽などを行っております。	目標 1	3-3	<a href="http://www.keihin-corp.co.jp/">http://www.keihin-corp.co.jp/</a> ケーヒン環境報告書2014 p28
株式会社ケーヒン	宮城県角田市と丸森町の小学校の児童へ環境の大切さを伝えております。2014年度は、8校の児童288名へ環境の大切さを学んで頂きました。	目標 1	7-2	ケーヒン環境報告書2014 p27
株式会社ケーヒン	ケーヒンは企業活動によって与える環境への影響に配慮し、グローバルで環境負荷低減に向けた取り組みを進めています。 2020年までCO <sub>2</sub> 排出量25%削減、2050年まで全ての環境負荷の半減を目指し、2014年度からは中長期目標、グローバル環境負荷の原単位改善（前年度△1%）	目標 1	1-2	ケーヒン環境報告書2014 p6、7及びp30
サントリーホールディングス(株)	貴重な水資源を未来に引き継ぐために、サントリー独自の次世代環境教育「水育」を事業として取り組んでいます。「サントリー天然水」のふるさとで開かれる自然体験プログラム「森と水の学校」には2004年開校以来約15,000名の親子が参加。小学校で先生方と一緒に「出張授業」には2014年までに約1,000校、約75,000名の児童に参加いただきました。	目標 1	7-2	<a href="http://suntory.jp/mizu-iku/">http://suntory.jp/mizu-iku/</a>
セコム株式会社	社員への啓発活動 社内イントラネットを活用した環境のホームページ・SECOMのECOでは、「生物多様性」についてわかりやすく解説するページを設置したり、クイズなどを出題して社員に興味を持ってもらうよう工夫しています。	目標 1	7-1	セコムWebサイト CSRの取り組み>地球環境とともに < <a href="http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html">http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html</a> >
株式会社ニコン	生物多様性復元計画「AKAYA（赤谷）プロジェクト」を2005年から日本自然保護協会を通して支援しています。「AKAYA（赤谷）プロジェクト」は生物多様性の復元と持続的な地域社会づくりを進める活動です。ニコンはこのプロジェクトに対して機材の提供や環境啓発ツールの「赤谷ノート」の提供を行っています。	目標 1	7-2	<a href="http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/akaya-project/index.htm">http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/akaya-project/index.htm</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
パナホーム㈱	創業50周年記念プロジェクトの一環として『パナホームファミリーの森』を、岩手県宮古市と岐阜県高山市に2013年10月に開設。2013年10月1日～2014年9月30日にかけて1年間実施し、お施主さまとパナホーム社員による約10,000本の植樹を目指している。	目標1	7-2	<a href="http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0930.html">http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0930.html</a>
株式会社 ファンケル	【教育】 ①従業員教育：ファンケルの森（山梨県道志村）で森林社員研修を1回/年実施。植樹や間伐体験 ②学校と連携した環境教育（フェリス、武蔵野大）・神奈川県環境インターシップの実施。 ③一般市民参加型の体験学習（森林保全の実験）を実施。森の宝箱（株主総会やゴルフイベント）	目標1	7-1	<a href="http://www.fancl.jp/csr/env/enlighten.html">http://www.fancl.jp/csr/env/enlighten.html</a>
ブラザー工業㈱	従業員のエコ活動をエコポイントに計上し、そのポイントを社会貢献活動の支援に充てることで社員の啓蒙活動を推進している	目標1	7-2	<a href="http://www.brother.co.jp/eco/communication/eco_point/index.htm">http://www.brother.co.jp/eco/communication/eco_point/index.htm</a>
ルネサスエレクトロニクス株式会社	当社西条工場では、天然記念物であるカブトガニの幼生を育てて毎年放流しています。	目標1	3-3	<a href="http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2013_csr_all.pdf#P24">http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2013_csr_all.pdf#P24</a>
株式会社カネカ	2010年度に生物多様性に関する活動方針を制定し、企業活動が生態系におよぼす影響に注目して、環境への負荷を軽減する技術や素材、製品を提供するとともに生産における環境負荷の軽減に努めています。また、社会貢献活動の一環としても、社外の多様な生物多様性活動との連携・協力を行っています。	目標1	1-2	CSR REPORT 2015 p47
三井住友海上火災保険株式会社	企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）は、2008年4月に設立され、企業が直面する生物多様性に関する問題について研究しているが、当社はJBIBの会長会社としてJBIBの活動に積極的に参加し、推進している。毎年、このJBIBの特別協力を得て、企業が生物多様性の取り組みを行うための啓発活動としてシンポジウム「企業が語るいきものがたり」を開催している。	目標1	6-2	<a href="http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/maintenance/">http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/maintenance/</a>
三井住友海上火災保険株式会社	2012年5月、三井住友海上駿河台新館のオープンにともない、新館敷地内に、地域に開かれた環境コミュニケーションスペース「ECOM駿河台（エコムスルガダイ）」を開設した。環境や自然に関するさまざまな情報を発信し、また、環境や自然、社会貢献に関するイベントを開催し、地域の皆様と交流する場として活用している。	目標1	6-2	<a href="http://www.ms-ins.com/company/csr/ecom/">http://www.ms-ins.com/company/csr/ecom/</a>
三井不動産株式会社	当社グループ会社所有の保有林での社員参加の植林研修（1回/年）	目標1	7-1	<a href="http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/employee/nurturing/index.html">http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/employee/nurturing/index.html</a>
三井物産株式会社	未来の担い手である子どもたちが持続可能（サステナブル）な未来を創る力を育むための「サス学（サステナビリティ学）」アカデミーを昨年に引き続き開催。「サス学」と言う仕組みを活用して新たな角度から当社の事業並びに環境・社会貢献活動を取り上げ「持続可能な社会の実現」に向けた当社の取り組みを子供たちに具体的に伝えると共に、「未来の仕事」をテーマに課題解決力、チームワーク、チャレンジ精神を育てる場を提供する。	目標1	7-2	(2014年CSRレポート) 三井物産「サス学」アカデミー： <a href="http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/social/education/child/sasugaku/">http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/social/education/child/sasugaku/</a>
三井物産株式会社	小中高生を対象に「出前授業」を実施。「森のめぐみと森の仕事」をテーマに、森林の役割や生物多様性の大切さ、日本の森林の現状や林業の仕事について紹介する意識啓発活動を継続。14年度は17校・1,500名に実施。又、「三井物産の森」（社有林）にて、林業や森林環境について学ぶ体験型プログラムを実施。14年度は14回・500名が参加。	目標1	7-2	(2014年CSRレポート) 森林・環境学習サイト： <a href="http://www.mitsui.com/jp/ja/morikids/index.html">http://www.mitsui.com/jp/ja/morikids/index.html</a> 三井物産の森を通じた環境教育「森のきょうじつ」： <a href="http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/env_edu/program/index.html">http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/env_edu/program/index.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
三菱電機株式会社	みつびしでんき野外教室 森林や河原、講演、海岸といった自然のフィールドを「教室」に見立て、社員とその家族、地域の皆様とともに自然を体感し、自然との共生を考え、環境をよりよいものに変えていく行動力を育みます。	目標 1	7-1	<a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/naturalsymbiosis/class/index.html">http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/naturalsymbiosis/class/index.html</a>
三菱電機株式会社	事業所の生きもの調査・観察 専門家の知恵を借りながら行う「事業所の生きもの調査」と社員が行う「生きもの観察」の二つのアプローチで、事業活動と生きものとのかかわりについて理解を深めています。	目標 1	1-2	<a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/naturalsymbiosis/observation/index.html">http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/environment/policy/naturalsymbiosis/observation/index.html</a>
昭和電線ホールディングス株式会社	里山の保全と夏休み子供教室を支援 海老名市より、当社の緑地公園を使って夏休みに小学生を対象とした「昆虫採集および木の勉強会」を開催したいとの申し入れがあり、お手伝いをしました。	目標 1	7-2	<a href="http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/protection.html">http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/protection.html</a>
昭和電線ホールディングス株式会社	Kids I S O 地域の小学校へ出前授業を実施	目標 1	7-2	<a href="http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/communication.html">http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2014/communication.html</a>
森ビル株式会社	「街育」と称して年間で1,000名の未来を担う子どもたちに、弊社の待ちづくりにおける環境・安全・文化という3つのミッションをどのように具現化しているかを、六本木ヒルズ等の現場で体感してもらっている。環境面では屋上緑化・都心の田んぼ・生物多様性に配慮した緑地を見て、触って、感じてもらっている。	目標 1	7-2	<a href="http://www.mori.co.jp/machiiku/">http://www.mori.co.jp/machiiku/</a>
株式会社 竹中工務店	自然との共生 人と自然が共生する建築やまちづくりを目指して、2012年3月に「生物多様性活動指針」を定め、設計提案による都市域等での生物多様性保全に資する先進的な都市再開発なプロジェクトの創出を推進している。 土地利用状況評価ツールを一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の活動で当社研究員がリーダーとして開発し、産業界に普及したり、社内でも建物の計画・設計や自社土地の評価に利用している。	目標 1	5-2	コーポレートレポート2014 (33頁) <a href="http://www.take-naka.co.jp/corp/report/pdf/2014/p31_44.pdf">http://www.take-naka.co.jp/corp/report/pdf/2014/p31_44.pdf</a> サステナビリティレポート2013 (11頁) <a href="http://www.take-naka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2013/p11_16.pdf">http://www.take-naka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2013/p11_16.pdf</a> ②生物多様性 <a href="http://www.take-naka.co.jp/solution/needs/ecosystem/index.html">http://www.take-naka.co.jp/solution/needs/ecosystem/index.html</a>
株式会社島津製作所	当社の女性社員で構成された環境活動チームの「え〜こクラブ」が作成した絶滅危惧種をテーマとして生物多様性を学ぶことのできるカードゲーム“bidi”を開発し、無償で配布するほか、教材として用いながら小中学校に対しての出前講義を実施している。	目標 1	7-2	生物多様性の保全 <a href="http://www.shimadzu.co.jp/csr/eco/biodiversity.html">http://www.shimadzu.co.jp/csr/eco/biodiversity.html</a>
東レ株式会社	2010年12月に東レグループ生物多様性基本方針を制定し、全社員へ周知、各社員が生物多様性の価値を理解し、東レグループとしての行動を認識している。	目標 1	1-2	<a href="http://www.toray.co.jp/csr/environment/safety/saf_011.html">http://www.toray.co.jp/csr/environment/safety/saf_011.html</a>
東レ株式会社	東レグループの事業活動と生物多様性との関係性マップを作成し、生物多様性への影響の把握と、生物多様性保全に貢献する製品を特定した。	目標 1	3-1	東レグループCSRレポート2014 (P77)で公開
株式会社東芝	一部のモデル工場を進めるのではなく、グローバル64拠点すべてで2015年までにビオトープを整備することを計画している。その際に、手間や費用を抑えつつも実効性の高い生物多様性貢献活動の簡易手法を策定している。	目標 1	1-2	<a href="http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm</a> 環境レポート2014P14
株式会社東芝	生態系サービスの中でも「文化的サービス」への貢献に特化して展開している。従業員とその家族や工場周辺の地域住民の皆様と一緒に取り組むことで、生物多様性の主流化を加速させることも企図している。	目標 1	7-2	<a href="http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm</a> 環境レポート2014P15
日本アビオニクス株式会社	弊社の社会貢献活動 環境CSRレポート2014の抜粋→13. 社会貢献活動	目標 1	6-2	添付資料参照および弊社環境CSRレポート2014開示 <a href="http://www.avio.co.jp/company/about/environment/">http://www.avio.co.jp/company/about/environment/</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
日本水産株式会社	環境憲章行動指針に「生物多様性保全」を加えた	目標 1	1-1	<a href="http://www.nissui.co.jp/social/environment/05.html#section01">http://www.nissui.co.jp/social/environment/05.html#section01</a>
(株)日立ソリューションズ	環境方針(サイトEMS行動方針)	目標 1	1-1	<a href="http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/management.html">http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/management.html</a>
株式会社日立国際電気	放送カメラ、監視カメラの使用時の環境負荷を軽減し、生物多様性への意識向上に貢献している。	目標 1	7-2	同上
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	「SAVE JAPAN プロジェクト」 保険契約者がWeb約款を選択することにより、当社が環境NPOに寄付を行い、当該NPOと協働で、地域の希少生物種と触れ合う参加型の環境保全活動を開催。2011年度の開始以降、延べ27,000人を超える市民が参加。	目標 1	7-2	<a href="http://savejapan-pj.net/">http://savejapan-pj.net/</a>
前田建設工業株式会社	・法面保護に在来種の植生を利用（生態系混乱の防止） 京王井の頭線の神泉駅～駒場東大前駅間における耐震補強工事において、法面養生と景観保護を目的とした植栽を実施した。その際、育成の早い外来種ではなく、在来種の植生を用いることにより、周辺の生態系に及ぼす影響を極力抑制した。	目標 4	7-2	CSR報告書2015 p47-48
前田建設工業株式会社	・埋立予定池における水中生物保護 小学校の新築工事において、掘削工事によって発生した残土を池に埋立てるのに先立って水中生物の保護を行った。専門家立会いのもと、網やボードなどを用いて捕獲したのち、埋め立ての対象になっていない隣の池に放流した。	目標 4	3-1	CSR報告書2015 p47-48
前田建設工業株式会社	・浚渫土砂の流出抑制（水質汚濁の防止） 橋梁の補強工事において、橋脚部分の土砂を取り除いた。その際、周辺の生態系への影響を考慮し、濁水の流下や拡散を防止するためのシルトフェンスを二重に設置するとともに、上流からの漂流物を水鳥が飲み込んでしまわないように定期的なメンテナンスを行っている。	目標 4	3-1	CSR報告書2015 p47-48
KDDI株式会社	通常の商用電力に加え、太陽光パネルによる発電、深夜電力により蓄電池に充電された電力を時間ごとに効率よく供給する電力制御技術を用いた「トライブリッド基地局」をau携帯電話基地局に導入。日本全国100カ所に設置。従来の商用電力のみを使った場合よりも、CO2排出量において最大約30%の削減が見込めます。	目標 4	4-1	<a href="http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_03.pdf">http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_03.pdf</a> →基地局における消費電力低減と災害対策の取り組み
KDDI株式会社	auショップでお客さまから回収した使用済み携帯電話を一台ずつ手作業によって、基盤、液晶、カメラ、プラスチック、ネジ、鉄、アンテナ、モーター、スピーカーなどに分解し、それぞれリサイクルしています。2014年度も、99.8%とほぼ100%に近い再資源化率を実現しました。	目標 4	4-1	<a href="http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_04.pdf">http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_04.pdf</a> →携帯電話リサイクルの推進
株式会社 イトーキ	2014年に販売した製品に使用されている木材の樹種、使用量、原産国の把握及び環境社会報告書へ掲載を開始した。 (把握範囲の拡大が今後の課題)	目標 4	3-1	<a href="http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html">http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html</a>
キッコーマン株式会社	キッコーマンは、近隣小学生を対象にした「エコ学習」を、清水公園で開催しています。 約2時間、インストラクターと共に公園内に見られる自然を見つめ、そこに現れているさまざまな命のあり方、尊さを楽しく学びます。それを通して、自然を愛することの大切さを知り、持続可能な社会の実現に向けての基礎的な力が養われれば、と願っています。子供たちからは「季節によって生き物がいろいろな動きをしているのがわかった」など多くの感想が寄せられています。	目標 4	7-2	—

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
キヤノン株式会社	大分キヤノン大分事業所では、2005年の操業以前からこの地に生息していた野生のキジを保護するために、事業所内でキジを飼育し、敷地内の「キヤノンの森」に放鳥しています。2012年は日本キジ飼育のプロから学ぶ「P-Project」（キジ孵化・育雛率向上計画）を発足。キジの放鳥に成功しています。	目標 4	3-1	<a href="http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html">http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html</a>
キリンホールディングス(株)	スリランカの紅茶農園におけるレインフォレスト・アライアンス認証取得支援 キリングroupは2013年から良質な茶葉の産地であるスリランカの紅茶農園の持続性向上に向けた取り組みを展開している。内容は自ら持続可能性を高める意欲がある農園を支援するためレインフォレスト・アライアンス認証の取得に向けたトレーニング費用の助成である。2014年までの累計で30を超える紅茶農園がトレーニングを開始している。（2015年には50以上の予定）	目標 4	3-1	<a href="http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable.html">http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable.html</a>
キリンホールディングス(株)	紙・印刷物への対応 2013年に紙・印刷物についてWWFジャパンと協働で「行動計画」を設定。2013年は、使用しているすべてのコピー用紙について、「キリングroup持続可能な生物資源調達ガイドライン」に準拠していることを確認し、2014年からは封筒、商品カタログ等の印刷物のFSC認証用紙への切替を推進。また、「持続可能な紙利用のためのコンソーシアム」に設立メンバーの1社として参画。	目標 4	3-1	<a href="http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable02.html">http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/sustainable02.html</a>
サントリーホールディングス(株)	サントリーグループは、自然の恵みに支えられている企業の責務として、持続可能な地球環境を次代へ引き渡すことを目的に、『環境ビジョン2050』を策定するとともに「2020年目標」を設定し、生物多様性の保全を含む自然環境保全・再生の取り組みをさらに積極的に展開していきます。	目標 4	1-2	<a href="http://www.suntory.co.jp/eco/teigen/vision/">http://www.suntory.co.jp/eco/teigen/vision/</a>
サントリーホールディングス(株)	サントリーは「水のサステナビリティ」実現のために、「天然水の森」整備活動を基幹事業として取り組んでいます。2014年時点でおよそ8,000ha超の面積で森林保全・再生活動を展開しており、2020年までに12,000haに拡大することを目標としています。これは国内自社工場で使用する地下水量を育む面積の2倍に相当します。	目標 4	3-1	<a href="http://www.suntory.co.jp/eco/forest/">http://www.suntory.co.jp/eco/forest/</a>
株式会社 ファンケル	【地域循環】 ①青汁の絞り粕を発酵させ地域酪農家に牛のエサとして販売。酪農家より牛糞をケール畑の肥料として活用。 ②ミネラル農法で化学肥料や農薬を低減。愛媛県資源循環優良モデル事業所として認定。 ③発芽米で発生するくず米を鶏のエサに活用。工場が発生する生産水を自社菜園（旧駐車場）の肥料水として活用。	目標 4	4-1	<a href="http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html">http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html</a>
ブラザー工業(株)	グループ全社において、事業活動や物流などエネルギー起源および製品の省エネ性能の向上などCO2排出量の削減活動を展開し、温暖化など気候変動による生態系への影響を配慮している	目標 4	4-1	<a href="http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target02">http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target02</a>
王子ホールディングス	国内に19万ha（約650ヶ所）、海外に29万ha（9ヶ国）の森林を所有・管理し、持続可能な森林経営を展開、今後も長期に亘り管理して行く。	目標 4	2-1	“王子グループレポート2014”；P64～65

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
株式会社ディスコ	小型電子機器の回収活動（中国） 2014年度から中国の現地法人DISCO HI-TEC CHINA CO., LTD.では、不要となった小型の電子機器（携帯電話、イヤホン、充電器、マウス等）を回収し、リサイクル資源として専門業者に提供しています。 回収された電子機器は、素材毎に分解、再利用することで資源を有効活用しています。現在では、ゴミの分別をより細分化するなど、社員の環境に対する意識向上に繋がっています。	目標 4	4-1	—
丸紅株式会社	天然木を伐採することの無い、環境に配慮した持続可能な植林事業を行っている。	目標 4	1-1	<a href="http://www.marubeni.co.jp/csr/csv/afforestation/">http://www.marubeni.co.jp/csr/csv/afforestation/</a>
共同印刷株式会社	資源の持続性を意識し、環境負荷の低い資材を使ったモノづくりを進めている。環境負荷の低い原材料を優先的に調達しているほか、お客様に対してもこうした資材を使用した印刷物の製作を積極的に提案している。（FSC森林認証取得等）	目標 4	3-1	2015年CSR報告書p36
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	生物多様性問題に対する取組を経営課題として推進。 ①企業方針として生物多様性行動保全指針を制定 ②2008年のCOP9においてドイツ政府提唱の「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」に賛同し、リーダーシップ宣言へ署名、活動を推進 ③2012年のRio+20にて「自然資本宣言」に署名 ④エコプロダクツ展（2007年より生物多様性をテーマに継続出展）など、啓発活動に努める。	目標 4	2-1	CSRレポート2014（p.14-31） <a href="http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf">http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf</a>
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	生物多様性問題の解決に貢献する金融商品・サービスを提供。①日本経団連自然保護基金の公益信託を受託・運営 ②トラスト地の買取に寄付する社会貢献寄付信託を販売 ③生態系への配慮や認証制度をとりいれた環境配慮型建築コンサルティング ④自然資本評価を組み入れた環境格付融資の提供 ⑤生物多様性に配慮する企業に投資する生物多様性SRIファンドの販売。	目標 4	3-1	CSRレポート2014（p.32-45） <a href="http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf">http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf</a>
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	営業拠点で地域社会に貢献し、信頼関係を築く活動の一つとして「生きもの応援活動」を実施。①ナショナル・トラスト活動の支援・普及啓発活動 ②NGOと協力した各種イベントの実施・参画 ③生物多様性、絶滅危惧種をテーマとしたロビー展の開催 ④在来植物の保護などを目的とした森林、里山の保全活動の実施他多数。	目標 4	3-3	CSRレポート2013（p.110-122） <a href="http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf">http://smth.jp/csr/report/2014/full/all.pdf</a>
三井住友海上火災保険株式会社	1984年の駿河台ビル竣工当時から、都心の本社ビルのあり方として、「周辺環境との調和」を理念の一つとして掲げ、既存樹の活用や高木の植栽に耐えられる構造を供えた屋上庭園の築造など、企業の緑化取組の先駆けとして、外部からも高い評価を得ている。駿河台新館の緑地管理および駿河台ビル改修にあたっては、これらの理念や歴史を引き継ぎ、新しい技術を用いた緑化や地域の生物多様性に配慮した緑化など、「緑のもつ力」を最大限表現することを目指し、取り組みを進めている。	目標 4	3-1	<a href="http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/afforestation/">http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/afforestation/</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
三井不動産株式会社	「&EARTH DAY」。当社グループビジョン「&EARTH」と「森をそだてる大切さ」を伝えることを目的としたイベント。NPO法人やプロの音楽家・木工職人・ボランティアの学生などに協力をいただき親子と一緒に楽しく学べるワークショップ形式の「&EARTH melody（当社グループが所有する保有林の間伐材を利用した木琴の製作）」・「&EARTH教室」（環境保全教育）のオリジナルイベントの開催。	目標 4	7-2	<a href="http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/special/forest/index.html">http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/special/forest/index.html</a>
株式会社三菱ケミカルホールディングス	MCHCグループが、提供するエネルギー効率の良い製品や部材により、使用段階におけるCO2排出量を削減します。具体的には、製品を通じてCO2を350万トン削減効果目標に取り組んでおります。	目標 4	5-2	ご参考 <a href="http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf">http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf</a> 2014KAITEKIレポート（統合レポート）P41、P42
株式会社三菱ケミカルホールディングス	MCHCグループは、再生可能原料・材料の使用量を2015年度に重油換算で1万トンにする目標を掲げております。枯渇の可能性のある化石燃料（石油、石炭、天然ガス）から、再生可能な原料（植物由来などの天然資源）へ転換します。	目標 4	5-2	ご参考 <a href="http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf">http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf</a> 2014KAITEKIレポート（統合レポート）P41、P43
株式会社三菱ケミカルホールディングス	MCHCグループは、水の浄化機能を備えた製品群の拡販によって、2015年度に9億トンの利用可能な水を提供することを目指します。	目標 4	5-2	ご参考 <a href="http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf">http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf</a> 2014KAITEKIレポート（統合レポート）P41、P43
住友商事株式会社	鉱山開発における生物多様性の取り組みを「生物多様性の民間参画に向けた日本の取組」第2版に公表、更に他の事例も合わせ「生物多様性民間参画シンポジウム in 大阪」（2015年8月27日）で講演	目標 4	6-2	(環境省HP参照) <a href="http://www.biodic.go.jp/biodiversity/private_participation/trend/">http://www.biodic.go.jp/biodiversity/private_participation/trend/</a> <a href="http://www.env.go.jp/press/101230.html/">http://www.env.go.jp/press/101230.html/</a>
住友林業 株式会社	2012年に「生物多様性宣言」、「生物多様性行動指針」、「生物多様性長期目標」を制定した（「宣言」「指針」は現在環境方針に統合）。長期目標は、「愛知目標」を網羅的に検討し、対応する長期目標を事業レベルで具体的に落とし込んでいる。	目標 4	1-1	<a href="http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation01.html">http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation01.html</a>
住友林業 株式会社	グループとして「調達方針」を設け、生物多様性にも配慮した調達を推進している。また、2020年度を目標達成年度としたCSR中期計画では、森林認証材、植林木、国産材など持続可能な木材の使用・取扱いを拡大する目標を設定して取り組んでいる。	目標 4	3-1	<a href="http://sfc.jp/information/company/keiei_rinen/mokuzai/">http://sfc.jp/information/company/keiei_rinen/mokuzai/</a> <a href="http://sfc.jp/information/society/plan/page02.html">http://sfc.jp/information/society/plan/page02.html</a>
新菱冷熱工業株式会社	社員の家族・子どもたちの職場見学会「子ども参観日」を開催している。見学会には環境教育も盛り込み、環境の大切さを学ぶ機会にしている。	目標 4	7-2	2015年8月7日実施
株式会社 大林組	当社は、持続可能な社会の実現をめざして、中長期環境ビジョン「Obayashi Green Vision 2050」を策定し、事業活動を通じて地球環境の課題解決に取り組んでいます。その中で2050年のあるべき社会像の一つとして「自然共生社会」を掲げ、「生物多様性が適切に保たれ、自然の恵みを将来にわたって享受できる」社会の実現を目指しています。2013年度は「生態系保全の定量評価」と「生物誘致環境評価システムの開発」について取り組みました。	目標 4	1-2	コーポレートレポート2014 P.37・38 <a href="http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf">http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf</a>
株式会社 竹中工務店	持続可能な森林管理サイクルに寄与できる木材の活用・利用 ・高い耐火性能を有する木造部材「燃（も）エンウッド」の開発・実用化により、都市部においても大規模な木造建築の建設が可能となりました。国産木材の利活用を通して、森林サイクルの維持・拡大などに寄与する。 ・国産材の利活用を図るため、LVL（単層積層板）およびCLT（直交集成板）による「木材を活用した耐震改修工法」の技術開発・製品化と実プロジェクトへの適用を行っている。	目標 4	5-2	「燃エンウッド」： <a href="http://www.takenaka.co.jp/solution/needs/wood/index.html">http://www.takenaka.co.jp/solution/needs/wood/index.html</a> 「木材を活用した耐震改修工法」： <a href="http://www.takenaka.co.jp/news/2015/07/01/index.html">http://www.takenaka.co.jp/news/2015/07/01/index.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
東北電力株式会社	当社は、東日本大震災による福島県沿岸部の津波被災地の復旧・復興において盛土材が不足している現状を踏まえ、原町火力の石炭灰を利用して盛土材として活用できることを確認し、地域復興の一助となるよう発電所に製造装置を設置し、製品化(「輝砂」)することとした。	目標 4	4-1	東北電力HP <a href="http://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1187417_1049.html">http://www.tohoku-epco.co.jp/news/normal/1187417_1049.html</a>
(株)日立ソリューションズ	CSR報告書	目標 4	6-2	<a href="http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/report/">http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/report/</a>
菱洋エレクトロ株式会社	電気使用量、物流燃料使用量の削減によるCO2削減の推進	目標 4	4-1	<a href="http://www.ryoyo.co.jp/csr/contribution_society.html">http://www.ryoyo.co.jp/csr/contribution_society.html</a>
菱洋エレクトロ株式会社	グリーン調達ガイドラインを制定し、グリーン購入を推進	目標 4	3-1	<a href="http://www.ryoyo.co.jp/csr/c-control.html">http://www.ryoyo.co.jp/csr/c-control.html</a>
三機工業株式会社	SANKI YOU エコ貢献ポイント 省エネ提案の採用実績に応じて、そのCO2削減量を1トンあたり100円に換算して、その金額を環境保全関連(植林)のNPO法人へ寄付している。	目標 5	3-3	<a href="http://www.sanki.co.jp">http://www.sanki.co.jp</a>
KDDI株式会社	東京都八王子市の高尾山で環境保全活動を実施。2013年度からの長期的な活動場所として指定。KDDIグループ社員とその家族らがボランティアとして参加し、自然保護団体「高尾グリーン倶楽部」と協同で、ヒノキ林での除伐・間伐、間伐材を利用した木工作业などのボランティアを実施しています。また、同地で、都立工芸高校との産学連携の取り組みも推進しています。	目標 5	3-3	<a href="http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_05.pdf">http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/environment/pdf/2015_env_05.pdf</a> →高尾山環境保全活動
イビデン株式会社	岐阜県、揖斐川町、NPO法人揖斐川自然環境レンジャーと「生きた森林づくり」を締結し、東横山地区「イビデンの森 東横山」、鶴見地区(イビデンの森 ふじはし)において10カ年計画での持続可能な森林再生活動に継続的に取り組んでいる。 また、当地に植栽する苗木は周辺の土地から採取した種子から育成したものを利用している。	目標 5	3-3	<a href="http://www.ibiden.co.jp/csr/contribution/forest/index.html">http://www.ibiden.co.jp/csr/contribution/forest/index.html</a>
キヤノン株式会社	下丸子本社には、法定緑地面積を上回る広大な緑地に、人の干渉がない場合に形成される潜在自然植生種をはじめ、多くの植物が生育しています。また、玉川・矢向・川崎事業所など、都市の貴重なエコロジカルネットワーク形成の役割を担う多摩川周辺の各事業所でも、緑地維持に取り組んでいます。	目標 5	3-3	<a href="http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html">http://canon.jp/ecology/charter/biodiversity.html</a>
キヤノン株式会社	2010年5月から自然再生活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」を推進しています。この取り組みは、日本各地において、地域ごとの環境NPOと連携しながら、棚田の保全や森づくり、干潟の保全など、美しい「ふるさと」を残すことを目的としています。	目標 5	3-3	<a href="http://cweb.canon.jp/csr/furusato/">http://cweb.canon.jp/csr/furusato/</a>
スズキ株式会社	「スズキの森」植林 スズキは、2006年に林野庁天竜森林管理署と「ボランティアの森」協定を結び、浜松市北部の「スズキの森」で森林保全活動をスタートしました。 2008年からは社員やその家族、友人による植林や下草狩りの作業だけでなく、春には椎茸の菌打ちの体験、秋には収穫イベントを行っています。楽しみながら森林保全に取り組む活動が継続しています。	目標 5	3-3	スズキ環境・社会レポート2014(森林保全活動) <a href="http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf">http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf</a>
株式会社ニコン	公益財団法人オイスカが取り組む「東日本大震災復興海岸林再生プロジェクト」に賛同し、支援を行っています。このプロジェクトは津波によって失われた海岸林の再生へ向けて10年計画で取り組む活動です。 なお、タイにおいては、子供への啓発等を目的に同財団が実施している「子供の森」計画の支援をしています。	目標 5	3-3	<a href="http://www.nikon.co.jp/csr/society/support-activities/coastal-forests/index.htm">http://www.nikon.co.jp/csr/society/support-activities/coastal-forests/index.htm</a>



貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
株式会社ニコン	生物多様性保全、および森林資源の持続可能な利用に配慮した紙の調達を行うことを基本方針とする「紙調達方針」を制定し、調達パートナー等の協力のもと、同方針に沿った紙調達を進めています。2014年からNGOと企業による「持続可能な紙使用のためのコンソーシアム」にも参加しています。	目標 5	3-1	<a href="http://www.nikon.co.jp/csr/csr-procurement/policy/index.htm">http://www.nikon.co.jp/csr/csr-procurement/policy/index.htm</a>
リコーリース株式会社	生物多様性保全コンビニ決済サービス ～専用紙による商品代金払い込みで生物多様性を保全～ 生物多様性保全コンビニ決済サービス。お客様に商品代金のお支払いの際、コンビニ決済サービスをご利用いただいた件数に応じて、生物多様性を保全する団体に当社が寄付をすると共に、当社社員が動植物の保護、および生息地保全活動を支援するもの。	目標 5	3-3	<a href="http://www.r-lease.co.jp/csr/index.html">http://www.r-lease.co.jp/csr/index.html</a> CSR報告書2015 P18
ルネサスエレクトロニクス株式会社	当社は、神奈川県・高知県・熊本県で森林保全活動を行っており、年間230ンのCO2吸収を実施している。	目標 5	3-3	<a href="http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2014_csr_06_ver02.pdf">http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2014_csr_06_ver02.pdf</a>
株式会社カネカ	2013年から大阪工場敷地内に「摂津の森カネカビオトープ」を開設しています。これはホテル等が観察できる親水空間のことで、大阪工場の緑地の一部を摂津市に貸与し、市民団体「摂津ほたる研究会」と協同で運営しているものです。	目標 5	3-3	CSR REPORT 2015 p47
株式会社カネカ	2012年から兵庫県の「企業の森づくり事業」に参画し、同県多可町にて「カネカみらいの森づくり」として、山林整備・保全活動を進めています。	目標 5	3-3	CSR REPORT 2015 p47
株式会社ディスコ	森林整備への参加（広島） ディスコでは環境方針の一環として生産拠点の緑化を進め、それぞれの地域にあった「森の中の工場」を目指しています。 、地域の自然環境との一層の調和を目指し、グリーンクラブ（2014年度現在138名所属）を中心に地元郷原地域の樹木や草を中心に生物多様性の森づくりをはじめています。 これらの活動が認められ、SEGESより「Excellent Stage II」の認定を取得しました。	目標 5	3-3	—
三菱電機株式会社	里山保全プロジェクト 事業所周辺の公園や森林、河川などの"身近な自然"を回復する活動 「里山保全プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトの狙いは、自然への「恩返し」とともに、事業所のある地域に貢献することです。	目標 5	3-3	<a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/case/field/ecology/satoyama/index.html">http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/case/field/ecology/satoyama/index.html</a>
三菱電機株式会社	被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加 継続して復興を応援する取り組みとして2013年2月から被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています。	目標 5	3-3	<a href="http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/disaster/project_donguri/index.html">http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/disaster/project_donguri/index.html</a>
三洋化成工業株式会社	京都モデルフォレスト協会の趣旨に賛同し、京都府和束町で「三洋化成の森」づくり活動を行っている。資金提供による間伐と、従業員等によるボランティアで舗道整備・植樹などを実施。	目標 5	3-3	「三洋化成の森」活動： <a href="http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/boscage.html">http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/boscage.html</a> CSRレポート2015 P32,38 <a href="http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/report.html">http://www.sanyo-chemical.co.jp/csr/report.html</a>
住友商事株式会社	主に中南米での生物多様性保全への貢献を目的に、渡り鳥に優しい「バードフレンドリー®コーヒー」の日本向け輸入を推進。認証によりトレーサビリティを確立し、消費者が認証農園を指名買ひできる仕組みを構築することで、シェードグロウン（木陰栽培）かつ有機栽培にてアグロフォレストリー（森林農業）を守り、渡り鳥を保護していく活動に貢献	目標 5	3-1	（弊社HP参照） <a href="http://www.sumitomocorp.co.jp/business/article/id=245">http://www.sumitomocorp.co.jp/business/article/id=245</a>
出光興産株式会社	弊社の全製油所・工場の敷地内にある緑地について（財）都市緑化機構が実施する「社会・環境貢献緑地評価システム」を導入し、生物多様性保全の視点を取り入れた緑地管理を推進しています。	目標 5	3-3	<a href="http://www.idemitsu.co.jp/csr/environment/biodiversity.html">http://www.idemitsu.co.jp/csr/environment/biodiversity.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
出光興産株式会社	外航タンカーの出港時にバラスト水として積み込んだ海水を、航海途中で生態系への影響が少ない大洋の海水と入れ替えることで、寄港地水域の生態系を乱さないよう対処しており、さらに、2010年度からは、バラスト水に含まれる生物を除去する装置を船内に設置する検討を開始しています。	目標 5	3-1	同上
新日鐵住金株式会社	当社は、「自然と人間の共生」を目指して、国際生態学センターの宮脇昭所長（横浜国立大学名誉教授）のご指導のもと、製鉄所・製造所の「郷土の森づくり」を推進してきました。これは、その土地本来の自然植生を調べ、慎重に樹木を選定し、ポット苗をつくり、造成したマウンドに地域の方々と社員が一つひとつ丁寧に植えていくもので、日本で初めての生態学的手法に基づく企業による地域の景観に溶け込む森づくりとなりました。	目標 5	3-3	<a href="http://www.nssmc.com/csr/env/forest.html">http://www.nssmc.com/csr/env/forest.html</a> 環境・社会報告書2015 p29
清水建設株式会社	中部大学と共同で、愛知県の都市部を対象に、生き物のすみやすい環境のつながりを“見える化”したデータベース「UE-Net Aichi」を開発。（UE-Net自体は清水建設の単独開発）重要な環境のつながりや、その質の違いを可視化するシステムで、敷地単体から広域な緑地整備提案まで幅広く活用可能。今後、国土レベルの生物多様性戦略を実現する都市緑化に向けてデータベースを拡充する計画。 ※UE-Net\ユーイーネットは清水建設の登録商標です。	目標 5	3-3	<a href="http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html">http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html</a> シミズCSR報告書2013 p33
積水化学工業株式会社	国内すべての生産事業所・研究所において緑地の質向上を目指し、2013年度は、土地利用通信簿を活用し、調査を行いました。2014年度からは、土地利用通信簿の評価点を3年間で10ポイントアップする活動を展開しています。	目標 5	3-1	2015年度CSRレポート-p30
株式会社東芝	工場を中心として、従業員の家庭や周辺地域の森林、河川、公園などを結ぶ生態系ネットワークの構築を推進している。従業員の家族や周辺の住民と一緒に取り組むことで意識啓発につながっている。	目標 5	3-2	<a href="http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm</a> 環境レポート2014P13
東北電力株式会社	東日本大震災の津波により、太平洋沿岸の「海岸防災林」は壊滅的な被害を受けた。こうした中、その土地本来の色々な種類の木々を植える「森の防潮堤づくり」を進められており、当社社員もボランティアによる「種から育てて、被災地に植樹する」活動を推進している。	目標 5	3-3	東北電力HP <a href="http://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/bousairin/index.html">http://www.tohoku-epco.co.jp/enviro/bousairin/index.html</a>
凸版印刷株式会社	モデルサイト（深谷工場他）の敷地内緑地で生物多様性保全活動を開始し、「生き物と共生できる森づくりをはじめよう」をテーマに社員とその家族が、保全活動を体験しています。また、朝霞工場の上流に位置する柳瀬川で生き物観察をしたり、東京都海の森で植樹体験を行うなど、事業所外の生物多様性保全活動に取り組んでいます。	目標 5	3-3	TOPPAN CSRレポート2013 P40 「生物多様性保全への取り組み」 TOPPAN CSRレポート2014 P40 「生物多様性保全への取り組み」
日本水産株式会社	海外の関係会社において、水産物を取り扱う会社は持続可能な漁業人商品（MSC認証品）の取り扱いを増やしている。	目標 5	2-1	—
日本通運株式会社	鳥取県日南町、山形県飯豊町、静岡県伊豆菰山の全国3か所に「日通の森」を設け、それぞれの地域で年2~3回の森林育成活動を実施している。そこで従業員に対し、生物多様性保全の重要性を伝えている。	目標 5	3-3	CSR REPORT 2015(p47) <a href="http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html">http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html</a>
日本通運株式会社	北海道白糠町の社有林にて、絶滅危惧種「シマフクロウ」の生息地拡大に向けた活動を実施している。	目標 5	3-3	<a href="http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html">http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html</a>
(株)日立ソリューションズ	里山保全活動(地域との共生、生物多様性保全活動)	目標 5	3-3	<a href="http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/green.html">http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/csr/eco/green.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
菱洋エレクトロ株式会社	使用済コピー用紙をリサイクル業者に提供し、森林保護及びCO2の削減を推進	目標 5	3-1	—
菱洋エレクトロ株式会社	森林パルプ配合のコピー用紙使用により森林保護を推進	目標 5	3-1	—
新日鐵住金株式会社	当社は、近年環境問題として全国的に危惧されている“海の磯焼け”の改善に向けた「海の森づくり」も推進しています。 “磯焼け”現象の原因のひとつに、森林の伐採や川の上流の開発などによって、河川を通じたコンブやワカメなど藻類の生育に必要な“鉄分”の供給が減少したことが挙げられています。この課題に対し、当社は2004年から鉄鋼スラグと廃木材由来の腐植物質を混合した鉄分供給ユニットを開発し、藻場の造成に取り組んでいます。	目標 6	3-1	<a href="http://www.nssmc.com/csr/env/sea.html">http://www.nssmc.com/csr/env/sea.html</a> 環境・社会報告書2015 p29
積水化学工業株式会社	生産事業所から排出される排水の水生生物への悪影響を未然に防止するため、2013年度よりWETを活用した調査を実施しています。2014年度は新たに4事業所で評価を自実施しました。この2年間の調査で公共用水域に排出される排水の85%の確認を終了しました。	目標 6	3-1	2015年度CSRレポート-p30
阪和興業株式会社	間伐材の有効活用について、地方自治体や県森林組合連合会などと連携を深め、間伐材の輸出促進に協力し、海外ユーザーの開拓や用途開発を実施。	目標 7	4-1	環境CSR報告書2015 P12  <a href="http://www.hanwa.co.jp/company/report/index.html">http://www.hanwa.co.jp/company/report/index.html</a>
スズキ株式会社	「スズキ下川テストコースの森林」適正管理 スズキのテストコースは、森林が90%を占める北海道北部の下川町にあります。下川町は2003年に北海道で初めて国際的なFSC®森林管理認証を取得し、テストコース敷地に含まれる約303haの森林も2006年に追加認証されました。(FSC®C015134)	目標 7	3-1	スズキ環境・社会レポート2014 (森林保全活動) <a href="http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf">http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf</a>
スズキ株式会社	「法人の森林」制度への参加 スズキは、国有林を活用した「法人の森林」制度に参加し、国と1996年から2028年まで分収林契約(約4.3ha)を結んで森づくりに協力しています。分収の際には純収益をさらに森づくり等に役立てることであります。	目標 7	3-2	スズキ環境・社会レポート2014 (森林保全活動) <a href="http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf">http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2014/pdf/2014_envj_04_05.pdf</a>
旭硝子株式会社	「間伐に寄与する紙」を積極的に利用：環境NPOオフィス町内会が行っている「森の町内会-間伐に寄与する紙」を社内外の印刷物向けなどに購入・使用することで、健全な森林の回復に間接的に貢献しています。	目標 7	4-1	<a href="http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html">http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html</a>
王子ホールディングス	適切に管理された森林から伐採された木材を原料とすることが認証された、森林認証製品(印刷用紙、衛生紙等)を製造・販売している。	目標 7	3-1	“王子グループレポート2014”；P66～67
三井住友海上火災保険株式会社	インドネシア林業省と連携し、2005年からの6年間に、不法伐採により荒地化した野生動物保護林350haに約30万本を植林した。2011年からは、再生した森林を永続的に保護するために、地元住民の経済的自立を目的とした農業技術指導、小学校の先生への環境教育を行い、森林再生を可能にする持続可能な地域社会の形成を目指している。	目標 7	3-1	<a href="http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/rainforest/">http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/rainforest/</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
三井物産株式会社	国内の社有林（4万4千ヘクタール）を対象に、国際森林認証FSCを取得（2009年取得、2014年更新）。FSC認証取得を機に、森林区分に生物多様性保護林を追加（全社有林面積の1割）し、生物多様性の保全により踏み込んだ森林管理の取り組みを推進。（愛知目標18にも該当）	目標7	3-1	（2014年CSRレポート） FCS認証について： <a href="https://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/about/fsc.html">https://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/about/fsc.html</a> 生物多様性保護林について： <a href="http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/biodiversity/conservation.html">http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/forest/biodiversity/conservation.html</a>
株式会社 資生堂	「TSUBAKI」の原料産地「長崎県五島列島」にて、第4回種の植林・保全	目標7	7-2	<a href="http://group.shiseido.co.jp/csr/env/diversity.html">http://group.shiseido.co.jp/csr/env/diversity.html</a>
住友林業 株式会社	社有林において「生物多様性保全に関する基本方針」を定め、全社有林の森林認証の取得、環境林の設定、生態系に大きな影響を及ぼす施業の禁止、生物多様性豊かな水辺を保全するマニュアルの制定、社有林に生息する動植物をまとめたレッドデータブック作成などを行っている。	目標7	3-1	<a href="http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation02.html">http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/preservation02.html</a>
新日鐵住金株式会社	当社は、福島県相馬地域において東日本大震災に伴う津波被害農地の除塩対策に取り組まれる東京農業大学に対して、復興支援の観点を踏まえ、転炉スラグ肥料を約20トン無償提供し、研究に協力して参りました。2011年5月よりイチゴハウス、同年9月より水田1.7haに対して転炉スラグ肥料を施肥した結果、同肥料が迅速かつ効率的な除塩に極めて有効な方法であることが実証され、相馬方式（東京農大方式）を確立しています。	目標7	6-1	<a href="http://www.nssmc.com/product/slag/index.html">http://www.nssmc.com/product/slag/index.html</a> <a href="http://www.nssmc.com/news/20130308_100.pdf">http://www.nssmc.com/news/20130308_100.pdf</a>
清水建設株式会社	宗教法人生長の家 “森の中のオフィス”では地元山梨県産材のFSC認証の地産地消木材を丸太にして4万本以上調達。流通から工事まで綿密に管理し、大規模木造建築物では日本初のFSCの全体プロジェクト認証を取得。	目標7	3-1	<a href="http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html">http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html</a> シミズCSR報告書2013 p33
凸版印刷株式会社	「カートカン」、「エコフラットカップ」は、用紙に間伐材を含む国産材を30%以上使用した紙製飲料容器です。トッパンでは間伐材の積極的な利用により、国内森林保全への貢献を行っています。	目標7	4-1	TOPPAN CSRレポート2012 P46 「生物多様性保全の取組み」 TOPPAN CSRレポート2013 P31 「持続可能な消費への貢献」
凸版印刷株式会社	2002年に、商業印刷分野で森林認証制度FSCCOC認証を取得して以降、認証取得範囲の拡大に取り組んでいます。2012年度には、紙製容器包装分野の伊丹工場と三ヶ日工場が、FSCとPEFCのCOC認証を取得しました。	目標7	3-1	TOPPAN CSRレポート2013 P31 「持続可能な消費への貢献」
日本水産株式会社	ぶりの人工種苗生産による事業化を確立し、天然資源への負荷を低減	目標7	5-2	<a href="http://www.nissui.co.jp/social/environment/products.html">http://www.nissui.co.jp/social/environment/products.html</a>
日本水産株式会社	「資源の持続的な利用について」をホームページに掲載している	目標7	5-2	<a href="http://www.nissui.co.jp/news/20150619.html">http://www.nissui.co.jp/news/20150619.html</a>
日本製粉株式会社	冷凍食品（パスタ）の紙トレーにPEFC認証紙を使用しています。2015年6月末現在で71アイテムになりました。	目標7	3-1	2014年社会・環境報告書（2014年10月発行）  <a href="http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html">http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html</a>
日本製粉株式会社	J全農あきたが米粉用米を低農薬で栽培することに賛同し、農家の皆さんと田んぼの生きもの調査を継続して行っています。	目標7	6-1	2014年社会・環境報告書（2014年10月発行）  <a href="http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html">http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
ブラザー工業㈱	製品を構成する部品・原材料のグリーン調達や工場における水質・大気・土壌など汚染防止を徹底し、化学物質による生態系への影響を配慮している	目標 8	4-1	<a href="http://www.brother.co.jp/eco/regulation/green_procurement/index.htm">http://www.brother.co.jp/eco/regulation/green_procurement/index.htm</a>
株式会社三菱ケミカルホールディングス	MCHCグループは、地球環境負荷を05年度比30%削減することをめざしております。GHG、Nox、Sox、ばいじん、VOC、排水中の全窒素量の環境負荷物質が、環境にどの程度影響を与えるかを環境影響評価手法に基づいた係数を用い数値化し、製造過程で排出される物質の環境影響削減に取り組んでおります。	目標 8	3-1	ご参考 <a href="http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf">http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/download/pdf/14.pdf</a> 2014KAITEKIレポート（統合レポート） P41、P42
丸紅株式会社	コンパクトかつ低コストでオペレーションが可能なバラスト水処理装置の普及を通じて、海洋生態系保護の取組みに貢献している。	目標 9	3-1	アニュアルレポート2015 p.47  <a href="http://search.marubeni.com/ja/i-viewer_s/?p_no=49&amp;m_p=124&amp;p_id=134367&amp;file_name=http%3A%2F%2Fwww.marubeni.co.jp%2Ffir%2Freports%2Fannual_report%2Fdata%2Far15jp_all.pdf&amp;t=&amp;kw=%E3%83%90%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%88%E6%B0%B4">http://search.marubeni.com/ja/i-viewer_s/?p_no=49&amp;m_p=124&amp;p_id=134367&amp;file_name=http%3A%2F%2Fwww.marubeni.co.jp%2Ffir%2Freports%2Fannual_report%2Fdata%2Far15jp_all.pdf&amp;t=&amp;kw=%E3%83%90%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%88%E6%B0%B4</a>
川崎汽船株式会社	バラスト水の保有を最小化する船舶の導入やバラスト水管理条約発効に備えたバラスト水処理装置を搭載。	目標 9	3-1	<a href="http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html">http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html</a>
川崎汽船株式会社	環境に優しい非金属系等の無毒型船底塗料の採用を拡大。	目標 9	3-1	<a href="http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html">http://www.kline.co.jp/csr/environment/biodiversity.html</a>
川崎汽船株式会社	当社保有林での里山保全活動。	目標 9	3-3	<a href="http://www.kline.co.jp/csr/environment/management.html">http://www.kline.co.jp/csr/environment/management.html</a>
日本精工株式会社	工場が琵琶湖湖畔に位置するため、外来魚駆除の活動を2014年度から毎年、従業員で有志を募り実施することにした。	目標 9	3-3	2015年CSR報告書
株式会社八十二銀行	生物多様性保全活動の一環として、平成26年度より特定外来生物「アレチウリ」の駆除ボランティアを実施しています。26年度は、2カ所3回で役職員67名が参加、27年度は5カ所8回で役職員約140名が参加いたしました。	目標 9	3-3	2015年「八十二銀行の現況（CSRレポート） P45
株式会社滋賀銀行	「外来魚駆除・釣りボランティア」琵琶湖の外来魚を釣りで駆除、生態系を守る活動。	目標 9	3-1	CSRレポート2014 P20
スズキ株式会社	「先進環境技術」の追求 スズキは、環境保全に貢献する先進環境技術を「SUZUKI GREEN Technology」と位置付け、低燃費・低排出ガス・省資源などの小さなクルマに適した環境技術を追求しています。	目標 10	5-2	スズキ環境・社会貢献ホームページ「SUZUKI GREEN Technology」 <a href="http://www.suzuki.co.jp/about/csr/index.html">http://www.suzuki.co.jp/about/csr/index.html</a>
タキロン株式会社	生分解性プラスチック技術を応用したサンゴ群集再生実験の取組	目標 10	5-2	環境・CSR報告書2015P21
株式会社カネカ	お客様の使用段階、廃棄・リサイクル段階において、従来製品と比べて地球環境負荷低減に貢献できる製品を「環境配慮製品」と定義し、事業活動を通じて持続可能な社会の創造に貢献できるよう努めています。環境配慮製品として、CO2排出量削減に貢献する製品の定量評価を進めています。	目標 10	5-2	CSR REPORT 2015 p35
丸紅株式会社	洋上風力発電、大規模太陽光発電、小水力発電、地熱発電など、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの利用・普及に、積極的に取り組んでいる。	目標 10	5-2	<a href="http://www.marubeni.co.jp/business/power_plant/power/summary/">http://www.marubeni.co.jp/business/power_plant/power/summary/</a>
積水化学工業株式会社	連結売上高に占める環境貢献製品の売上高比率を2016年度に50%以上に拡大することを環境中期計画の目標に掲げています。2014年度は、太陽光発電システム搭載住宅の好調や環境貢献製品の品目増加によって、売上高比率の年度目標の44.5%を達成しました。	目標 10	6-1	2015年CSRレポート p31

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
キャノンマーケティング ジャパン株式会社	国内13地域で、環境NPOなどと連携し、森づくりや山村での棚田・干潟の保全などに取り組む「未来につなぐふるさとプロジェクト」を展開しています。2014年は35回のボランティア活動を実施し、713名の従業員と家族が参加しました。	目標1 1	7-1	<a href="http://cweb.canon.jp/csr/furusato/index.html">http://cweb.canon.jp/csr/furusato/index.html</a>
共同印刷株式会社	社員及びその家族を対象に生物多様性について考える一助となることを願い、2010年より「赤城自然園」（群馬県渋川市）で渡り蝶である「アサギマダラ」の生態調査を目的としたマーキングを行っている。この調査会を通じ、生物多様性保全を意識した企業活動を考える機会ともなっている	目標1 1	3-1	参考資料 <a href="http://www.kyodoprining.co.jp">http://www.kyodoprining.co.jp</a> 「CSR活動」 2015年CSR報告書p28
清水建設株式会社	他地域の植栽樹木による遺伝的なく乱、遺伝的多様性の減少を防ぐため、植栽によく使われる3種の樹木（イロハモミジ、ヤマザクラ、ヤブツバキ）を対象として、中部大学応用生物学部と共同で、遺伝子解析による判別手法を開発。植栽樹木の由来調査（スクリーニング）に基づく供給体制やトレーサビリティの確立を目指している。	目標1 1	6-1	<a href="http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2014.html">http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2014.html</a>  シミズCSR報告書2014 p42
凸版印刷株式会社	2014年3月に竣工した群馬セキエ工場の緑化計画は、土地開発における生物多様性配慮の社内規定により、第三者評価を実施し、都市緑化機構が認定する社会貢献緑地「都市開発版SEGES」の認定を受けました。	目標1 1	3-1	TOPPAN CSRレポート2013 P40 「生物多様性保全への取り組み」
株式会社日立国際電気	富山市「企業の森づくり」に参画、工場近隣の2ヘクタールの市有地を企業の森とし、従業員のボランティア活動により、間伐、下草刈り、遊歩道整備を行い、里山として育てている。	目標1 1	3-3	同上 (当社インターネットサイト「生物多様性への取り組み」)
キリンホールディングス (株)	ビオトープ キリンビール横浜工場では2011年4月に策定された生物多様性横濱行動計画「ヨコハマbプラン」に賛同した取り組みとして地域のNPO法人と連携しビオトープを整備。絶滅が危惧される地域在来のメダカや、ホトケドジョウを生息域外保全している。キリンビール神戸工場でも、場内のビオトープにおいて地域の研究機関と協働し、絶滅が危惧されるカワバタモロコの定着に成功している。これらは地域のこどもたちの環境教育プログラムにも活用されている。	目標1 2	3-1	<a href="http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/stakeholder.html">http://www.kirinholdings.co.jp/csv/env/bioresource/stakeholder.html</a>
サントリーホールディングス (株)	公益信託「サントリー世界愛鳥基金」は、新たな助成部門として「水辺の大型鳥類保護」部門を創設しました。コウノトリ、トキ、ツルなど水辺の大型鳥類の保護活動を行っている団体への助成を通じて、水田や湿原など日本の豊かな水辺の環境保護をいっそう推進していきます。	目標1 2	3-3	<a href="http://www.koueki-suntory-aityou.jp/gaiyou/sikumi.html">http://www.koueki-suntory-aityou.jp/gaiyou/sikumi.html</a>
パナホーム(株)	千里本社ビル（大阪府豊中市）横に、緑化ゾーン「つながりのひろば」を開設。在来種を中心とした植栽や、ビオトープを設置。絶滅危惧種を保全し、地域の小学生を対象とした環境教育の場としても活用している。大阪府、豊中市、研究機関、大学と協定を結び、生物多様性保全活動をすすめている。	目標1 2	3-3	<a href="http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0419.html">http://www.panahome.jp/company/news/release/2013/0419.html</a>
株式会社 ファンケル	【原料】 ①新規原料の選定。深海鮫から栽培できるオリーブ、サトウキビ由来原料に代替。 ②サケなど頭部で廃棄されていた部分を活用してサプリメント原料に活用。 ③アルガンオイル（先住民の女性支援や植樹）を選定	目標1 2	3-1	<a href="http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html">http://www.fancl.jp/csr/env/biodiversity.html</a>
王子ホールディングス	内外に所有する森林において、絶滅危惧種（高山植物、稀少魚類イトウ、稀少鳥類キウイ、ムトン等）、稀少植物（スズラン）の保全、再生活動をNPOと協働で推進している。	目標1 2	6-1	「王子グループレポート2014」； P68～69

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
王子ホールディングス	猿払イトウ保全協議会活動を通じてのイトウ保護	目標 1 2	3-3	<a href="http://www.sarufutsu-icc.gr.jp/index.html">http://www.sarufutsu-icc.gr.jp/index.html</a>
関西電力株式会社	兵庫県豊岡市では、人工飼育された国の特別天然記念物コウノトリの自然放鳥が行われています。当社は、放鳥されたコウノトリが電線に衝突して怪我をしないように電線などにカラーリングを取り付けて送電線の視認性を高め、衝突を防止する対策を施しています。	目標 1 2	3-3	<a href="http://www.kepco.co.jp/corporate/kankyou/report/safety/region/seibutsu02.html">http://www.kepco.co.jp/corporate/kankyou/report/safety/region/seibutsu02.html</a>
株式会社 資生堂	与那国島の環境保全活動支援	目標 1 2	7-2	<a href="http://www.shiseidogroup.jp/csr/env/diversity.html">http://www.shiseidogroup.jp/csr/env/diversity.html</a>
住友ゴム工業(株)	国内5事業所において絶滅危惧種類の保全・育成活動を行っており、種の生物多様性保全に貢献している。	目標 1 2	3-3	2015年CSR報告書 P26
住友商事株式会社	インドネシア「パツビジャ銅・金鉱山開発プロジェクト」：鉱山地域に棲息する希少種の野鳥、又、周辺のウガノ産卵地やサンゴ礁の保護に配慮した鉱山開発	目標 1 2	3-1	(弊社HP参照) <a href="http://www.sumitomocorp.co.jp/files/user/doc/csr/report/env2013j_12.pdf">http://www.sumitomocorp.co.jp/files/user/doc/csr/report/env2013j_12.pdf</a>
住友商事株式会社	ロシア「チルネリス木材ビジネスプロジェクト」：年間伐採許容量を厳しく管理した持続可能な森林経営で、森林認証制度である「FSC認証を取得」、また、絶滅危惧種のアメリカトラの生息数増加に貢献した木材ビジネスプロジェクト	目標 1 2	3-3	(弊社HP参照) <a href="http://www.sumitomocorp.co.jp/csr/environment/biodiversity/">http://www.sumitomocorp.co.jp/csr/environment/biodiversity/</a>
清水建設株式会社	兵庫県が朝来市に建設する洪水調整などを目的とする与布土ダム建設工事では、周辺に生息するクマタカやオオサンショウオなど貴重な動植物などの生態への影響を軽減するため、仮設備のアースカラー塗装、防音カバー設置、新工種着手時のコンディショニング（クマタカを慣れさせるため、建設機械を現場に置いておくだけの期間から徐々に作業時間を延ばす）などを実施。	目標 1 2	3-1	<a href="http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html">http://www.shimz.co.jp/csr/environment/report/report2013.html</a>  シミズCSR報告書2013 p33
株式会社 大林組	当社が施工中の新名神高速道路の建設予定地周辺では、桑名市指定の天然記念物で三重県のレッドデータブックに絶滅危惧種として指定されているヒメタイコウチの生息が工事着工前に確認されていました。生息地周辺での工事の際には、お客様、保全委員会、市教育委員会と連携して、湿原地に上流からの水の供給が途絶えないよう、保全に取り組んでいます。また、工事予定地が生息地に掛かるエリアについては、工事エリア外に一時移植しています。	目標 1 2	3-1	コーポレートレポート2014 P.40 <a href="http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf">http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf</a>
中国電力（株）	発電所構内で繁殖している「ハヤブサ」の親子を1992年に発見し、野鳥の専門家の指導をいただきながら煙突の中段に巣箱を2000年に設置。繁殖期には保修工事を避けるなどできるだけ刺激を与えないよう配慮したところ、その後、ほぼ毎年2~3羽のヒナが育っている。	目標 1 2	0	2015エネルギーグループ環境報告書 p34 <a href="http://www.energia.co.jp/corp/active/csr/kankyou/index.html">http://www.energia.co.jp/corp/active/csr/kankyou/index.html</a>
株式会社東芝	工場敷地を利用して周辺に生息する希少な動植物の生息域外保全を実施している。企業の工場はセキュリティが確保されているため第三者による盗掘・乱獲や天敵・侵略的外来種による食害の恐れがないことから世界中の拠点に展開しており、各国で多種多様な絶滅危惧種の保護・人工増殖を進めている。	目標 1 2	3-2	<a href="http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm">http://www.toshiba.co.jp/env/jp/vision/biodiversity_j.htm</a>  環境レポート2014P11-12
日本精工株式会社	工場の敷地内に生息・生育している貴重な動植物（レッドデータリスト掲載種）について、保護しながら、毎年生息・生育状況をモニタリングしている。	目標 1 2	3-1	2013年CSR報告書
日本製粉株式会社	天然記念物である『トキ』の保護活動を支援するため、トキのロゴいりスパゲッティを販売し、売り上げの一部を『新潟県トキ保護募金』に寄付金として贈呈しました。	目標 1 2	3-3	2014年社会・環境報告書（2014年10月発行）  <a href="http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html">http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
株式会社滋賀銀行	「カーボンニュートラルローン未来よし」による琵琶湖の固有種・絶滅危惧種の保護・育成・放流活動。	目標12	3-1	CSRレポート2014 P14
株式会社滋賀銀行	「ピワマス遡上プロジェクト」 11-3月まで、役職員の家庭の冷蔵庫で孵化、育てた稚魚を地元の川へ放流する活動。	目標12	3-1	CSRレポート2014 P22
ウシオ電機	植物に対する特定波長を照射し、効率よく育成する技術	目標13	5-2	2014年6月発行事業報告書
住友ゴム工業(株)	国内8事業所において、地元のどんぐりを拾い地元で育て地元の活動地に植樹しており、遺伝子の生物多様性保全に貢献している。	目標13	3-3	2015年CSR報告書 P21
武田薬品工業株式会社	薬用植物園において、絶滅危惧種を含む重要な薬用・有用植物資源を収集し、生息域外保全として育苗している。。	目標13	3-3	2014CSRデータブック p.41 <a href="http://www.takeda.co.jp/csr/reports/">http://www.takeda.co.jp/csr/reports/</a>
セコム株式会社	「セコムの食」の取り組み 「セコムの食」の生産者の方々はそれぞれ生物多様性に配慮した取り組みを行っています。そうして生産された食品の販路を提供し、作り手の思いをお客様へ余すことなく伝えることが、セコムの食の役割で、作り手を支援していくことにつながります。	目標14	3-2	セコムWebサイト CSRの取り組み>地球環境とともに < <a href="http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html">http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html</a> >
セコム株式会社	エコツアアの推進 セコムグループ社員の福利厚生を担当する株式会社ワンダードリームと協力して社員向けの「エコツアア」の紹介の取り次ぎを行っています。このエコツアアをさらに推進するため、社内イントラネット上に特集「エコツアアに出かけよう」設置しました。	目標14	7-1	セコムWebサイト CSRの取り組み>地球環境とともに < <a href="http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html">http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report/hozen4.html</a> >
株式会社 ファンケル	【商品】 ①フェアトレード商品の販売と売上の一部をNPOを通し現地 子供達の教育支援に活用 ②営業ツール（情報誌等）は、FSC認証紙やベジタブルインクを活用	目標14	2-2	<a href="http://www.fancl.jp/csr/fairtrade/">http://www.fancl.jp/csr/fairtrade/</a>
森ビル株式会社	アークヒルズ・六本木ヒルズでは「ヒルズマルシェ」と称した朝市を定期的実施運営し、各地の無農薬野菜などを中心に、たくさんの農産物が生産者から消費者へと手渡されて、自然の恵みに感謝する気持ちを通じて、農業に携わる人々と都市に暮らす人々がつながっていきます。	目標14	6-1	<a href="http://www.arkhills.com/marche">http://www.arkhills.com/marche</a>
東レ株式会社	①東レでは、従来より地域の植生を考慮した「鎮守の森方式」にて工場緑化活動を全社的に推進している。 ②2012年に従来の緑化方針を発展的に改訂し、「東レグループ緑化基本方針」として制定した。	目標14	1-1	東レグループCSRレポート2014 (P76)で公開
DIC株式会社	DIC総合研究所内に緑豊かな3万坪の庭園に100種以上の草花や樹木が配され、自然の色彩を季節ごとに楽しめるフラワーガーデンを庭園の一角に造成し、自然の色彩を楽しんでいただいています。庭園では里山の保全を継続し、千葉県生物多様性センターのサテライトを設置するなど、森林や生物多様性の保全に心がけています。	目標15	3-3	<a href="http://www.dic-global.com/ja/csr/environment/biodiversity.html">http://www.dic-global.com/ja/csr/environment/biodiversity.html</a>
株式会社 イトーキ	やまなし水源地ブランドへの取り組み イトーキは『やまなし水源地ブランド推進協議会』に参加、やまなし水源地ブランド製品の企画・開発・販売を行っています。また、2013年度からは、学生主体の現地ワークショップ事業「SCDプロジェクト」を企画・開催し、町村と都市との交流を推進。	目標15	6-1	<a href="http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html">http://www.itoki.jp/sustainability/environment/envreport/variety.html</a>
ブラザー工業(株)	拠点毎に社会貢献活動として、植林活動や絶滅危惧種の保全活動など33拠点、90ヵ所以上で展開しています	目標15	6-1	<a href="http://www.brother.co.jp/eco/communication/biodiversity/index.htm">http://www.brother.co.jp/eco/communication/biodiversity/index.htm</a>
旭硝子株式会社	森林ボランティア（本社企画）：森林保全の大切さや生物多様性への意識を高めることなどを目的として、2008年度からAGCグループ従業員やその家族などが参加する「森林ボランティア活動」を、各地で実施し、間伐や森林整備作業などを行っています。	目標15	3-3	<a href="http://www.agc.com/csr/social/activity_4.html">http://www.agc.com/csr/social/activity_4.html</a>



貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
関西電力株式会社	弊社と株式会社環境総合テクノス、株式会社松本微生物研究所の3社が共同で、菌根菌を活用した「樹勢回復手法」と、菌根菌をはじめとする有用土壌微生物を活用した「病害抑制手法」を開発しました。	目標 1 5	5-2	<a href="http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2010/0430-1j.html">http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2010/0430-1j.html</a>
関西電力株式会社	発電所では自然に近い森を短期間でつくるため、地域に適した植栽樹種の苗木を選定し、密植・混植しています。形成した森では外来種駆除を行い、地域本来の生物多様性を守るための環境づくりに努めています。	目標 1 5	5-3	関西電力グループレポート2015 P.47
関西電力株式会社	当社は自社の自然環境資源を環境教育や地域との連携・交流に活用することを目的として、発電所にビオトープを造成してきました。兵庫県奥多々良木発電所のビオトープでは貴重なモリアオガエルの産卵を確認することができます。	目標 1 5	5-3	<a href="http://www.kepco.co.jp/corporate/kankyuu/report/safety/region/seibutsu03.html">http://www.kepco.co.jp/corporate/kankyuu/report/safety/region/seibutsu03.html</a>
丸紅株式会社	間伐採、地域清掃などのボランティア活動などに、役員・社員やその家族が毎年参加している。	目標 1 5	3-3	<a href="http://www.marubeni.co.jp/csr/contribution/volunteer/">http://www.marubeni.co.jp/csr/contribution/volunteer/</a>
三井不動産株式会社	グループ会社所有の北海道約5,000haの保有林を森林の特性に応じ適切に保全・管理し積極的に活用する「森をそだてる・つくる・いかす」のサイクルを構築。「業務用資材（建築資材）としての利用促進」の一環として「スマートフローリングプロジェクト」を始動。「国産材の活用」「生物多様性の保全」「CO2の長期吸収・固定」などが評価されグッドデザイン賞受賞	目標 1 5	4-1	<a href="http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/special/forest/index.html">http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/special/forest/index.html</a>
三井不動産株式会社	当社所有の商業施設内にビオトープの設置（豊洲）、英虞湾沿岸遊休地の干潟再生（合歓の郷ホテル&リゾート）等	目標 1 5	5-3	<豊洲> <a href="http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2011/environment/operations/green/index.html">http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2011/environment/operations/green/index.html</a> <合歓の郷ホテル&リゾート> <a href="http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/quality/green/index.html">http://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/csr/2014/quality/green/index.html</a>
三井物産株式会社	三井物産環境基金の助成先NPOと協働で、茨城県牛久市にて機械化が難しく、更に農業の担い手不足などから荒廃した谷あい水田（谷津田）を無農薬での米作りを通じて再生するプロジェクトを実施。現地の生物調査や生態系の保全に協力しながら、田植え、草取り、稲刈り、さらに収穫した米を使った日本酒づくりという伝統的な食文化まで合わせて知ることができる機会として、グループ企業を含めた社員や家族が多数参加している。	目標 1 5	3-3	（2014年CSRレポート） 三井物産環境基金>社員参加プログラム 谷津田再生プロジェクト： <a href="http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/volunteer/index.html">http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/volunteer/index.html</a>
住友林業株式会社	緑化事業において、生態系保全に配慮し自生種を中心とした緑化植物を「ハーモニックプランツ®」として提案している。また他社と協働した「エコアセット・コンソーシアム」などを通じ、生物多様性に配慮した都市再生、既存緑地改修、里山再生などのコンサルティング事業にも取り組んでいる。	目標 1 5	5-1	<a href="http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/service.html">http://sfc.jp/information/society/environment/performance/preservation/service.html</a>
森ビル株式会社	アークヒルズ仙石山森タワー・虎ノ門ヒルズでは生物多様性定量評価手法の一つであるJ-HEP認証において「AAA」評価をうけ、竣工後の維持管理においても動植物調査モニタリングを実施し、害虫駆除のための薬剤散布を最小限にとどめたり、生物多様性に配慮した維持管理を実施中です。	目標 1 5	5-3	<a href="http://www.mori.co.jp/company/urban_design/environment/urban_nature/c06.php">http://www.mori.co.jp/company/urban_design/environment/urban_nature/c06.php</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
積水化学工業株式会社	つくば事業所では、地元のNPO法人が取り組む「筑波山麓での水源の森づくり」の活動に年に2回参加しています。植樹したエリアでの下草刈りや谷津田（棚田）の水生物の観察など、里山の保全活動を通じて霞ヶ浦の大きな水源のひとつである筑波山周辺の森林保全を行いました。	目標15	3-3	2015年度CSRレポート Webページ（環境・社会貢献活動）
株式会社 大林組	宮城県岩沼市で東日本大地震の津波被害を受けた塩害農地を除塩する実証実験を、東北大学と協同で行いました。この実験では、被災木材のチップと土壌改良材を土に混ぜて、雨水と自然排水だけで除塩する技術を採用しています。2012年4月に作業を開始し、10月に菜の花の種を蒔きました。2013年4月、菜の花が満開となり、技術の優位性が立証されました。	目標15	3-3	コーポレートレポート2014 P.41 <a href="http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf">http://www.obayashi.co.jp/uploads/File/ir/report/2014/ir2014.pdf</a>
株式会社島津製作所	本社工場敷地内に、生物多様性に配慮した森を整備し、日本生態系協会の開発・運営しているハビタット評価認証（J-HEP認証）において最高ランクのAAA評価を取得した。	目標15	3-3	環境・社会報告書2015 P.20-21 <a href="http://www.shimadzu.co.jp/csr/2015_f3.html">http://www.shimadzu.co.jp/csr/2015_f3.html</a>
日本製粉株式会社	北海道深川市にあるグループ会社の遊休地を活用するため、10年にわたり植樹を行い整備していきます。（ニッポン四季の森プロジェクト）	目標15	3-3	2014年社会・環境報告書（2014年10月発行）  <a href="http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html">http://www.nippon.co.jp/csr/report/index.html</a>
株式会社日立国際電気	宮城県沿岸部の震災ガレキを活用して築いた丘陵地に、従業員が防災林を植樹するプロジェクトにボランティア参加し、生態系の復元に貢献している。	目標15	5-3	<a href="http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/creatures/index.html">http://www.hitachi-kokusai.co.jp/csr/creatures/index.html</a>
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	「協働の森づくり」 日本国内の市町村7カ所と森林協定を結び、地域の市民団体と協働で森づくりを行い、気候変動の緩和、災害に強い国土づくりに貢献し、生物多様性保全の理解を深めている。	目標15	3-3	<a href="http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/forests/">http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/forests/</a>
森ビル株式会社	東京都と「江戸のみどり復活事業」で官民連携をし、港区では「緑と水の委員会」に参画している。また、都市緑化機構や日本鳥類保護連盟との連携などを実施している	目標17	6-1	<a href="http://www.mori.co.jp/company/press/release/2014/08/20140808140000002832.html">http://www.mori.co.jp/company/press/release/2014/08/20140808140000002832.html</a>
KDDI株式会社	KDDIグループのKDDI研究所では、東京大学、九州工業大学、インド工科大学、WWFインドと協働して、河川の棲息環境の変化により絶滅が危惧されているガンジスカワイルカの保護活動を行なっています。音響観測システムの設置により、ガンジスカワイルカの知られていない生態調査や最適な保護活動に貢献しています。	目標19	3-1	<a href="http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/csr_report/2014/pdf/report2014_04.pdf">http://media3.kddi.com/extlib/files/corporate/csr/csr_report/2014/pdf/report2014_04.pdf</a> →ハイライト4 Technology
ウシオ電機	化学物質や細菌等を短時間で効率的に分析できる装置の開発	目標19	3-1	<a href="http://www.ushio.co.jp/jp/NEWS/products/20150605.html">http://www.ushio.co.jp/jp/NEWS/products/20150605.html</a>
ウシオ電機	大気汚染や有害物質を光で分解する技術の開発	目標19	3-1	2014年6月発行事業報告書
キッコーマン株式会社	2015年度 ウォータープロジェクトに参加  「水循環基本法」公布を受け、水環境の保全や水の大切さについて認知度向上させることを目的とした環境省発足によるプロジェクトに参加しました。参加企業として、既に行っている活動やこれから行う予定の活動を含め、健全な水循環の維持又は確保に向けた取組を登録します。	目標19	6-1	—

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
キッコーマン株式会社	2007年7月発足した、水の持続可能性に関する方針と実践について、企業の発展、実践、情報開示を支援する官民イニシアチブに、2015年6月2日 日本企業では初の署名をしました。これにより、以下の事が要求され対応していきます。 1. 直接事業 2. サプライチェーンと流域管理 3. コレクティブアクション 4. 公共政策 5. コミュニティ・エンゲージメント 6. 透明性	目標19	6-1	—
株式会社 安藤・間	福島県いわき市豊間・薄磯地区で震災復興を目指す市街地整備事業を手掛ける安藤ハザマ他共同企業体では、「いわき市豊間・薄磯地区防災緑地『どんぐりプロジェクト』」として伐採された里山の樹木のどんぐりを、地域の子どもたちに預けて苗木を育成してもらい、その苗木を防災緑地に新たに植栽して、地域の里山を再生する取り組みを進めている。この取り組みが第9回キッズデザイン賞復興支援デザイン部門で、「奨励賞・キッズデザイン協議会会長賞」を受賞した。	目標19	5-3	<a href="http://www.kidsdesignaward.jp/2015/">http://www.kidsdesignaward.jp/2015/</a>
株式会社 資生堂	KODAの研究	目標19	5-2	<a href="http://group.shiseido.co.jp/csr/env/diversity.html">http://group.shiseido.co.jp/csr/env/diversity.html</a>
株式会社 竹中工務店	名古屋 蝶の飛ぶまちプロジェクトの取り組み 蝶をシンボルとして人と自然が共生する豊かな環境創出を目指した活動です。街中に蝶の飛ぶ自然豊かな環境を目指し、名古屋市の中心市街地において、商店街や企業の協力を得ながら敷地等に蝶の誘導を狙いとした緑地を設け、点在する緑地同士をつなぐ都市生態系ネットワークづくりと、その調査・研究を行っている。当活動の専用ホームページを設置し、活動レポートや関連するセミナーの案内などを逐次公開している。	目標19	7-2	サステナビリティレポート2012(12頁) <a href="http://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2012/all.pdf">http://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2012/all.pdf</a> 名古屋 蝶の飛ぶまちプロジェクト <a href="http://nagoyabutterfly.com/">http://nagoyabutterfly.com/</a> 「福井駅前に竹製の花壇を設置...蝶の飛ぶまちプロジェクト推進と里山の保全」 <a href="http://www.takenaka.co.jp/enviro/news/index.html">http://www.takenaka.co.jp/enviro/news/index.html</a>
株式会社 竹中工務店	虫を殺すことによるその場しのぎの対処法ではなく、効果的かつ人や自然環境に優しい複数の技術を組み合わせた日常管理により、害虫を許容範囲に抑えるIPM(Integrated Pest Management)と呼ばれる手法が、昆虫制御の分野で注目されている。弊社はIPMの概念を早くから取入れ、周囲の自然環境に配慮し、生物多様性に影響を与えずに建物への虫の侵入を抑える独自の技術展開プロセス「防虫エンジニアリング」を確立している。	目標19	5-2	<a href="http://www.takenaka.co.jp/solution/needs/repellent/service05/index.html">http://www.takenaka.co.jp/solution/needs/repellent/service05/index.html</a>
株式会社島津製作所	生物多様性を利用した排水や土壌の浄化、レアメタルの回収などの環境技術の開発の場面において、当社の分析計測機器がメカニズムの解明などで活用されている。	目標19	5-1	環境・社会報告書2014 P.12-14 <a href="http://www.shimadzu.co.jp/csr/2014_f3.html">http://www.shimadzu.co.jp/csr/2014_f3.html</a>
株式会社島津製作所	生物多様性に学ぶ新素材の創出として、バイオミメティクスをテーマとした新素材セミナーを開催し、研究開発時に関連する当社製品についても紹介する。	目標19	5-1	島津新素材セミナー 2015 <a href="http://www.an.shimadzu.co.jp/topics/2015/201510/top_element.htm">http://www.an.shimadzu.co.jp/topics/2015/201510/top_element.htm</a>
株式会社日立国際電気	天然アユの遡上を増やすことを目的の一つとする、神通川の清掃ボランティア活動に10年継続して参加している。	目標20	3-3	—
アンリツ株式会社	当社の「生物多様性保全」の考え方を図で表し展開しています。	記載なし	記載なし	<a href="http://www.anritsu.com/RefFiles/ja-JP/About-Anritsu/CSR/2015/J-AR2015_eco-management.pdf">http://www.anritsu.com/RefFiles/ja-JP/About-Anritsu/CSR/2015/J-AR2015_eco-management.pdf</a>
アンリツ株式会社	社会貢献活動で緑化活動、クリーン活動などを推進しています。	記載なし	記載なし	<a href="http://www.anritsu.com/RefFiles/ja-JP/About-Anritsu/CSR/2015/J-AR2015_social-contribution.pdf">http://www.anritsu.com/RefFiles/ja-JP/About-Anritsu/CSR/2015/J-AR2015_social-contribution.pdf</a>

貴社名	具体的取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料
株式会社ケーヒン	ケーヒンの企業活動によって与える環境への影響抑制 国及び自治体等の法律遵守は基より、ケーヒン独自の 自主基準を定め実施（水質、大気など80%以下に設 定）	記載なし	記載なし	ケーヒン環境報告書2014 p37～p40
古河機械金属㈱	当社グループでは2009年より社内ボランティアを募集 し、栃木県日光市足尾町の社有地に桜千本植樹を目標 す「足尾さくら植樹会」を年1回開催しており、2015年 3月に第6回の植樹会を開催しました。	記載なし	記載なし	<a href="http://www.furukawakk.co.jp/pdf/CSR/FER2014.pdf">http://www.furukawakk.co.jp/pdf/CSR/FER2014.pdf</a> 参考資料：CSR 報告書2014 P16
株式会社ツムラ	生薬の品質は日本薬局方、日本薬局方外生薬規格等の 規格に適合しなければ漢方薬の原料生薬として使用す ることができません。そのためにも、外部形態的 特徴・遺伝子鑑定技術に関する研究を行い、これらに 基づいて正しい基原の薬用植物を用いて栽培研究を進 めています。	記載なし	記載なし	—
株式会社ツムラ	生薬栽培の前段階では自生地の調査と種の同定を行 います。絶滅危惧種を含む野生植物の調査・研究にか かわる国際的学術雑誌「植物研究雑誌」を刊行し2016 年に100年を向かえ、漢方薬の基本となる薬用植物の遺 伝子把握に長年取り組んできました。生薬の中には、野 生植物の採取に依存しているものがあり、これらの遺 伝子の多様性を保全し、持続的な利用を図ることが可 能に成ります。	記載なし	記載なし	—
株式会社ツムラ	、生薬栽培では、農薬使用に配慮しています。例えば 、環境負荷の軽減のため、農薬の使用量が最低限にな るように指導しており、近隣の生物への影響が懸念さ れるため、農薬が飛散しないように細心の注意を払う など、その種類や使い方を規定し、環境に配慮した管 理を行っています。	記載なし	記載なし	—
東京急行電鉄株式会社	二子玉川再開発事業において、世界的な環境認証であ るLEED NDの予備認証でゴールドを取得。生物多様性を高める 事業を評価するJHEP（ハビタット評価認証制度）にお いて、最高ランクとなるAAAを取得	記載なし	記載なし	ニュースリリース <a href="http://www.tokyu.co.jp/file/141031-1.pdf">http://www.tokyu.co.jp/file/141031-1.pdf</a>